

極意伝承！第一項

機能訓練が苦手なりハビリ職員ほど
シーティングは上手くいく！
利用者の座位が崩れたら
『1000%〇〇のせい』にすべし！

こんにちは、安藤祐介です。

この資料には、ぼくが考える【シーティングの極意】が書かれてます。
ちょっとでもシーティングに悩んでる方の力になればと思ってつくりました。

これを読まれてるってことは、ひょっとしてあなたは“リハビリ職員さん”ですか？

シーティングって、なんか知りませんけどリハの分野っぽいですもんね。
実際は、どの職種の方がやっても良いと思いますけど…。
うちの老健も、たまたまシーティングするのがぼくで、
たまたま職種がOTってだけなので。

もしあながPT・OT・STさんで、何らかの機能訓練をやってる方だったら、
ちょっと読む前に聞いてほしいことがあります。

実はこの資料、
一部のリハビリ職員さんには〈耳が痛い話〉になるかもしれません。

自分の存在を否定されたような気持ちになったり、
これまでしてきたことは何だったんだろう？って思い悩んだり、
そんな思いにさせたぼくのことを嫌いになるかも知れません。

……ぼくは、それがちょっと怖いです。

でもそれ以上に、この極意を伝えたい気持ちのほうが強いです。
シーティングにかけるぼくの想いは、結構熱いんですよ。

なので、まことに勝手な話なんですが
【本気の方】にだけ読んでほしいです。

本気で利用者の暮らしのことを考えて、
本気で快適な座位で生活してほしいと願ってて、
そのために傷ついてもいい覚悟がある方にだけ、読んでほしいんです。

……あなたは、いかがですか？
大丈夫な方だけ、先にお進みください。

(考え中)

…お、まだ読んでくださっている！ありがとうございます！
あなたの本気に、ぼくも精一杯お応えしますね。

この極意はとってもシンプルですが、
我ながら核心をついていると自負します。
ぼくはこの極意に辿りついでから、
シーティングで圧倒的な成果が出せるようになりました。

どんなに座位が崩れる利用者を担当しても怖くないです、
出会った当日～数日以内に座位を「暮らせるレベル」まで
整えられる自信があります。

そんなぼくが考える
利用者の座位を整えるための極意とは……

一切の機能訓練を中止する！
そして、徹底的に車イスをいじり倒す！これだけです！→つづく